

長崎労働局・長崎労働基準監督署・九州新幹線建設局が合同パトロールを実施

開催日	平成30年7月2日（月）
場所	九州新幹線(西九州)、経ヶ岳トンネル他（長崎市東町）
内容	県内の労働災害が増加傾向にあること、なかでも建設業については、昨年に災害が増加しているだけでなく死亡災害も多く、今年発生した2名の死亡者はいずれも建設業であること、うち1名はトンネル工事での災害によることなどから、全国安全週間を契機に更なる安全衛生意識の向上を推進する目的で、県民の注目度も高い九州新幹線の工事現場において長崎労働局長が長崎労働基準監督署長及び発注者である(独)鉄道・運輸機構九州新幹線建設局とともに合同パトロールを実施し、労働災害防止を訴えた。

長崎県内における昨年(平成29年)の労働災害による、休業4日以上(死亡・休業4日以上)は1,459名で、平成21年以降で最多となった一昨年(平成28年)と同数という結果になりました(都道府県別では、多い方から26番目)。また、昨年の労働災害による死亡者数は、一昨年より3名多く、16名もの尊い命が労働の場で失われています。

本年の労働災害発生状況をみると、6月末現在において死亡者数が2名となっており、前年同期比で3名減少していますが、2名の死亡災害はいずれも建設業において発生し、うち、1名はトンネル工事現場において、重機に接触したことによる災害です。

工事現場全景



このため、長崎労働局(局長:小玉 剛)は、長崎労働基準監督署(署長:楠本 明彦)、発注者である九州新幹線建設局と連携し、九州新幹線(西九州)経ヶ岳トンネル工事現場を合同でパトロールしました。

本トンネル工事現場では、長崎市東町～船石町までのトンネル延長1,930mの区間において、トンネル掘削工事を始めとして、坑内の壁面や路面へのコンクリート打設工事等が行われています。現在の進捗率は53%で平成31年8月頃完成予定となっています。

パトロールの開始にあたり、工事を施工する建設業者(鉄建・りんかい日産・西海興業特定建設工事共同企業体)から工事概要や安全対策などの説明を受けたのち、長崎労働局長より現場作業関係者(約200人)に向け、「作業方法や作業手順の遵守といった基本的な事項を徹底するとともに、家族や職場の仲間など、皆さんのことを心配してくれる人達が大勢いることをしっかりと自覚し、機械設備の不安全な状態を排除し、不安全な行動を作業員同士でお互いに気軽に注意し合える職場内の雰囲気を作り上げ、日々の安全活動に取り組んでいただきたい」とのメッセージが伝えられました。

パトロール風景



パトロール風景



現場でのパトロールでは、建設重機等の接触防止対策、安全通路の確保、坑内換気や照度の確保などが十分に行われているかを確認し、熱中症予防対策も含め、継続した安全衛生対策の徹底を図り、工事完了まで引き続き注意して作業を行っていくよう指導しました。